

		チェック項目	はい	いいえ	未回答	工夫している点、課題や改善すべき点など	
環境 体制 整備	①	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか。	6	8	0	<ul style="list-style-type: none"> ・収納が少なく狭く感じられる部屋もある。 ・活動内容によって部屋を使い分けしたり、日常的にクラスで相談している。 ・スペースの余裕がない。 ・たくさん運動をしたい時は外やアリーナ、会議室等も利用しながら活動を進めていきたい。 ・全員出席で親子でふれあい遊びをする時、狭さを感じる。会議室を利用させてもらうこともある。 ・クラスによって、検討が必要などところがあると思う。 	各部屋での活動に関しては、十分なスペースがないといったケースはある。施設内の会議室の利用やアリーナ(体育館)の利用等で工夫を検討していくことは必要である。
	②	職員の配置数は適切であるか	5	8	1	<ul style="list-style-type: none"> ・待機児が出る状況にある。 ・子:保育士 4:1の配置に問題はないが、職員の入れ替わりにより、クラス運営に影響する。 ・職員の手が足りないことが多い。それによって保育内容を変えなければいけないことがある。 ・休みが重なったり、全クラス分離の時は苦しいこともある。しかし、1クラス3人職員がいるのはありがたい。 ・散歩や戸外など危険が多い場所での活動では不足を感じる。 ・日によって足りない日がある。 	国の定める配置基準よりも多く職員を配置してはいるが、子どもの安全やきめ細かな発達支援、個別的な配慮を考えると、行き届かない事があるということは考えられる。 また、今年度については職員の半数が新規職員という事もあり、事業運営が大変であったと思う。今後、各々がスキルアップできるような環境を整えていきたい。
	③	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっているか。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか。	12	2	0		

事業所における自己評価結果(公表)

公表：令和 2年 3月26日

事業所名 各務原市福祉の里つくし

	チェック項目	はい	いいえ	未回答	工夫している点、課題や改善すべき点など	
環境 体制 整備	④ 生活空間は、生活で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子どもたちの活動に合わせた空間となっているか	11	3	0	<ul style="list-style-type: none"> ・パーテーション等を使って個別の空間を作ったりしているが、プラスチックダンボールを使用するなど耐久性、安全性には不安あり。 ・手が行き届かないところはたくさんあると思うが、なかなかじっくりと片付けたりする時間がない。 ・活動の内容によっては狭いように思う。 ・施設の老朽化もあり、清潔面が気になる場所もある。 	市販の仕切り、手製の仕切り等を使いながらの環境整備は必要である。 清潔面に関しては気になる部分についてリストアップし対応を考えたい。
業務 改善	⑤ 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	10	3	1	・トップダウンが中心。	日々の業務について見直し、改善を常に検討していく事は大切である。現在良しとされている業務内容についても改善について議論していく事は必要である。
	⑥ 保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	14	0	0		
	⑦ 事業所向けの自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	14	0	0		
	⑧ 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	14	0	0		
	⑨ 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	14	0	0		

		チェック項目	はい	いいえ	未回答	工夫している点、課題や改善すべき点など	
適切な支援の提供	⑩	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか	14	0	0	・アセスメント作成は他の職員に助けてもらいながら作り上げることができた。初の作成は分からないことが多く不安を感じる。	個別支援計画はより正確なアセスメントが大切であるため、アセスメントの取り方の工夫は必要である。面談、チェックリストの活用等考えていけるとよい。
	⑪	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	12	2	0		
	⑫	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	14	0	0		
	⑬	児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	14	0	0	・大きな枠組みとしては行われている。 ・支援の経験が乏しいことから、自分の担当の子に適切な支援ができているか？と言われると自信がない。	個別支援計画の把握とモニタリング、見直し等に関してはケース検討、担当者会議等の中で様々な意見を聞きながら検討していけるとよい。
	⑭	活動プログラムの立案をチームで行っているか	13	1	0	・クラスによっては連携の取りにくい所もあるよう。しかし、他クラス職員や主任、フリーの職員も入って相談しながら活動内容を考える工夫はされている。 ・活動終了後にその日の反省と次の日の活動を話す時間を設けているが時間は限られている。 ・話し合いながら行えている。	今年度については半数が新規職員であったことから苦労した部分であると思われる。そんな中、限られた時間を使いながら話し合いを行う工夫があったと思われる。

	チェック項目	はい	いいえ	未回答	工夫している点、課題や改善すべき点など	
適切な支援の提供	⑮ 活動プログラムが固定化しないように工夫しているか	13	1	0	<ul style="list-style-type: none"> ・工夫はしているが、マンネリ化している部分はある。 ・努力している姿は見られるが、一部固定化、同じ活動をパターンで繰り返してしまうことあり。 ・経験のある新しい職員の意見も取り入れながら新しい取り組みにもチャレンジしている。 ・工夫はしているが、子どもの発達に必要な支援がそれぞれ違うので難しさはあるように思う。 ・利用児の様子を見ながら、変化させたりと工夫している。 	一つ一つの活動の意味や子ども一人一人の目標、支援方法に関して具体性を持つことが活動のマンネリ化を防ぐことになる。新しい取り組み、新しい活動を考える時に、必ず子どもの目標と照らし合わせて、プログラムしていく事が大切である。
	⑯ 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成しているか	13	1	0	<ul style="list-style-type: none"> ・マンパワーの問題もあり、うまく出来ない部分がある。 ・個別はSTの特別支援を保障している。 	個別訓練のST職員との連携が大切である。この連携が子どもの正しい評価につながるため、連携の在り方を検討する必要がある。
	⑰ 支援開始前には職員間で必ず打ち合わせをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	13	1	0		
	⑱ 支援終了後には、職員間で必ず打ち合わせをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気づいた点等を共有しているか。	12	2	0	<ul style="list-style-type: none"> ・努力はしているが、できていないこともあり。重要なことは夕礼を行い共有している。 	夕方の報告会(夕礼)は効果的であると思われるため、ここできちんと振り返りが出来るように職員一人一人意識していく必要がある。
	⑲ 日々の支援に関して記録を取ることを徹底し、支援の検証・改善につなげていけるか	14	0	0		
	⑳ 定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断しているか。	12	2	0		

		チェック項目	はい	いいえ	未回答	工夫している点、課題や改善すべき点など	
関係機関や保護者との連携	⑳	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子供の状況に精通した最もふさわしいものが参画しているか	11	2	1		
	㉑	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っているか	12	1	1		
	㉒	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合)地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っているか	7	0	7	・医ケア児がいない	
	㉓	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合)子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えているか	6	1	7	・医ケア児がいない	
	㉔	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	13	0	1	・引継ぎで行っている。	
	㉕	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	13	0	1		
	㉖	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	10	4	0	定期的に外部から小児科診察や発達検査等でアドバイスをしてもらっているが、他施設と連携はとっていない。	他の発達支援事業所と併行して当事業所を利用するケースは少ないが、その場合の連携については検討していく必要がある。
	㉗	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	14	0	0		

		チェック項目	はい	いいえ	未回答	工夫している点、課題や改善すべき点など	
関係機関や保護者との連携	②9	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか	9	4	1		管理者が子ども部会に参加している。
	③0	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	14	0	0		
	③1	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っているか	13	1	0	<ul style="list-style-type: none"> ・ペアレントトレーニングは年少児保護者に行っている。全員対象に勉強会も行っている。 ・保護者のみでなく、職員に対しても研修を実施している。保護者向けのペアトレ実施後は各担当職員へのフィードバックもされている。 ・私はまだ家族関係を十分把握できていないので信頼関係を築き、何でも話せる関係になっていきたい。 	ペアレントトレーニングの取り組みは引き続き行っていきたい。また、ペアレントトレーニングを行える職員育成にも努めていきたい。
保護者の説明責任等	③2	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	12	0	2	<ul style="list-style-type: none"> ・運営規程など、分からないこと等その都度聞き、勉強しています。 	
	③3	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか	13	1	0		
	③4	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	14	0	0		

事業所における自己評価結果(公表)

公表：令和 2年 3月26日

事業所名 各務原市福祉の里つくし

		チェック項目	はい	いいえ	未回答	工夫している点、課題や改善すべき点など	
保護者への説明責任等	③⑤	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	13	1	0	・クラス独自のママ会も初めて実施した。母からは次回もやりたいとの意見を多くいただいております、今後も企画していけるよう検討していく。	3歳未満児のママ会開催は、クラス単位に合わせた保護者支援という意味でもよいアイデアだと思われる。
	③⑥	子どもや保護者からの相談や申し入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申し入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	14	0	0	・担当で対応できない相談についてはベテラン職員にも対応してもらっている。	
	③⑦	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	12	1	1		毎月おたよりを発行している。
	③⑧	個人情報の取り扱いに十分注意しているか	14	0	0		
	③⑨	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	13	1	0		
	④⑩	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	13	0	1	・セミナーやお祭りなどを行っている。	
非常時の対応	④⑪	緊急対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発声を想定した訓練を実施しているか	10	4	0	・すべてできているとは言えない。	事業団として各マニュアルを策定し職員で発生を想定した訓練を行っているため、その中で検証していきたい。
	④⑫	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	14	0	0		
	④⑬	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか	14	0	0		

事業所における自己評価結果(公表)

公表：令和 2年 3月26日

事業所名 各務原市福祉の里つくし

		チェック項目	はい	いいえ	未回答	工夫している点、課題や改善すべき点など
非常時の対応	④④	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	14	0	0	
	④⑤	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	14	0	0	
	④⑥	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	14	0	0	年2回事業団で研修している。
	④⑦	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか	14	0	0	